

～教員おすすめ本～

No. 29

経済学部 経済学科
山田 克宣



『捕食者なき世界』

ウィリアム・ソウルゼンバーグ 著
野中香方子 訳

【先生からのコメント】

水族館でラッコをかわいいと思ひ、動物園ではライオンをカッコいいと思う気持ちは皆にあると思ひます。人間にとっての興味の対象となる他に、彼らには野生の生態系の中で果たしていた役割があります。人間は地球の大きな自然環境のなかで、野生動物に特殊な影響を与えてきましたが、自分の行為の結果を何も知らずに全てのことをやってしまったという側面があります。

この本は、人間という小さな存在が大きな自然を理解し、自分自身を見つめ直す一歩目として最適です。



『銃・病原菌・鉄』

ジャレド・ダイヤモンド 著
倉骨彰 訳

【先生からのコメント】

世界に住む人間達はなぜこうも違うのだろう。なぜある場所では文明が発達して、別の場所では文明は遅れているのだろう。この刺激的なタイトルの本は、そんな素朴な疑問にひとつの見事な回答例を与えてくれます。

ある民族が優秀だからその社会が発展したといった陳腐な解説ではなく、人類史の展開のパターンにもっと本質的な法則を与えてくれる、際だった良書です。現在の国際社会を生きていく上で、教養として必ず知っておかないといけなことが多く書かれています。

2019年5月24日
近畿大学中央図書館